

<伊達市立大滝小学校・大滝中学校>

学校運営協議会だより

平成31年2月22日（金）発行 第3号 発行元：大滝小学校

平成31年2月18日（月）に、大滝小学校会議室にて、委員13名、事務局員4名の参加の下（欠席1名）、第3回学校運営協議会を開催しました。今回は、今年度の学校評価の結果と平成31年度開校の大滝徳舜警学校の学校経営方針について説明があり、質疑・意見交換がなされました。また、地域の児童生徒の育成に係わる話題が出され、意見交換を行いました。主な説明・協議の内容は以下の通りです。



1 平成30年度学校評価について

大滝小・中両校の教頭から、12月に実施した学校評価（児童・生徒アンケート、保護者アンケート、教職員アンケート）の結果と分析について説明がありました。

両校の報告に対して、委員の皆様から出された主な質問・意見は次の通りです。

① 学校に来るのが楽しくないと回答した児童がいることをどのように捉えているか。
→そのように答える児童を0名にすることが大切だと考えている。この結果を今後の学校経営に生かしていきたい。

② 生徒指導・いじめの項目など、保護者と生徒・教員との評価の数値の差が大きいのが気になる。

→問題行動が生じた際に個別の対応となり、その様子が保護者全体へうまく伝わっていないのが原因と考えられる。

③ あいさつについて地域での様子はどうか。
→学校では元気なようだが、登校中は声が小さい。休み中は挨拶しない場面もある。地域としても子ども達への挨拶を継続していく。

2 大滝徳舜警学校経営方針等について

大滝小・中両校の校長から、平成31年度に開校する大滝徳舜警学校の経営方針やいじめ防止基本方針等について説明があり、委員の皆様から次のような質問・意見が出されました。

① 働き方改革の推進とあるが、有休促進は学校でも可能なのか。

→伊達市でも閉庁日を設定し、お盆や年末年始時期に有休を取れるようにしている。

② いじめ防止基本方針は伊達市からも示されているが何か関係はあるのか。

→30年度に伊達市教育委員会で作ったものを取り入れた形で作成している。

3 大滝徳舜警学校について

開校準備部会の委員から、スクールバス運行について、次のような経過報告がありました。

○教育委員会と打合せを持ち、これまでなかった運用要綱を策定してスクールバス運行の方針を明確にし、子ども達が安全に学校へ通えるよう準備を進めている。

○今後は、保護者説明会を実施し、具体的なことを相談していく。

○学校から少年団活動へ直接参加する際の利用は可能。

4 子ども会について

委員から質問が出され、大滝区の子ども会の現状をふまえ、今後の必要性に係わり、次のような意見交換が行われました。

○地区のお祭りでは神輿の担ぎ手である子ども達の減少により、他地区からのお手伝いが必要な状況がある。子ども達が参加しやすく、お祭りを盛り上げる点からもオール大滝の子ども会というのがあると良い。

○子ども会は続けてほしいとは思いますが、子ども会がない地区もある。役員の担い手が足りなかったり、保護者が忙しかったり等の理由から解散した経緯がある。

○地区によって自治会運営が異なる中、解散した子ども会を再開させるためには、それ相当の活動意義や活動計画・内容などを示すことが必要になってくる。

○現在ある優徳地区が中心となって、協力してほしい！というようなことであれば、協力できる地区もあると思う。

○小さいコミュニティを超えて、他市町村との交流を経験することは子ども達にとって大切であり重視してほしい。そういう視点から子ども会の重要性を考えていくことも必要。

○中心となっていく人がいない。できれば次の人へと替わっていかればいいが、子ども達が少ない中では厳しい面がある。

○親同士で話し合いを持つことが必要ではないか。新しい学校のPTAで考えていけるとよいのでは。

○運営協議会は学校のことだけでなく、地域のことでも話し合う場として、子ども会の話はととても大切。子ども達が様々なことを体験したり交流したりする機会を広げるためにも子ども会のような受け皿があると良い。

5 その他

委員の皆さんから、子ども達に係わる事柄について、さまざまな意見が出されました。

①バス運行について

・愛地地区から通う児童生徒がいると聞いているが、バスの運行は考えているか。
→愛地からも通えるようバス運行の計画をしている。

・スクールバスの事故報道もあったことから、安全面に心配があるが。

→児童生徒の安全が何より大事。無理のない運行計画を立てしっかり準備を進めていく。

②置き勉について

・先日ある中学生徒のカバンの重さを調べたところ13kgあった。かなりの重さと感じるが学校ではどのように考えているか。

→中学校では、家庭学習で使用しない教科書や資料集を置いて帰ることも可能にしているが、子ども達の判断で毎日持ち帰っている現状である。

※中学校からのお知らせ

大滝中学校の閉校に伴って生じた不要物品を、市内学校や市教委などの希望を取った後、地域にも還元していけるよう検討している。譲渡期としては、3月4日(月)～8日(金)9:00～16:00(予定)とし、使用中の物品については、3月22日以降の搬出と予定している。現状での譲渡となり、修理等の対応はできない。

物品例～調理器具、食器、ロッカー類、ミシン、アイロン、書棚、加湿器、イス、机、工具類、楽器など

※今回の学校運営協議会をもちまして、今年度の事業をすべて終了いたしました。そして、4月から新しい学校になることから、学校運営協議会も新しく組織していくこととなります。委員の皆様には、これまで長期にわたり、児童生徒、学校教育推進のために活動していただきましたことに感謝申し上げますとともに、両校に対して貴重なご意見や励ましのお言葉をいただき、誠にありがとうございました。